

外国人研究者の現状に合わせて、科研費を初めとする競争的資金に関する情報提供や申請支援等を行うことにより、外国人研究者が本学において円滑に研究を進め力を発揮できる環境を整備する。



## 本事業のポイント

- 外国人研究者の立場に立った支援の実施
- 事務部との連携による取組
- 長期的な取組による、充実した資料の作成、支援プログラムの実施



## 本事業の目指すイメージ

### 外国人研究者のこれまでの現状

- 競争的資金を獲得したいが、例えば日本の助成システム、研究者自身の雇用状況等、基本的な知識が不足している。
- 英語による情報が十分になく、支援者の配置にも偏りがある。
- 研究を円滑に進め、十分に力が発揮できる環境が整備されていない。



### 支援を受けた研究者

- 支援を受けて初めて申請書に何が求められているのかわかった。
- 役に立つ説明を提供してもらえたが、もっと簡単に英語の情報が手に入るようにしてほしい。



### 目指す状態

日本人研究者と変わりなく、できるようになる外部資金獲得。採択率も向上する。等  
→ 外国人研究者が研究をすすめ、より活躍できる研究環境へ。



## 取組実績

### ● 科研費英語申請 (研究推進課と連携して取り組みを実施)

#### 1) 科研費申請マニュアル

Application manual (Osaka University Version) for the Grants-in-Aid for Scientific Research (KAKENHI) Program  
外国人研究者ならではの「分からないポイント」を抑え情報を提供

#### ● マニュアルコンテンツ例

- 科研費とは ・ 研究種目と審査の仕組み
- 応募の仕方 (電子システムや学内の仕組み)
- 締め切り日、学内窓口情報等の基本かつ重要な情報
- 研究者と支援者のための科研費日英単語集
- 科研費改革の情報 等



#### 2) 外国人研究者向け科研費説明会

全体セミナーと個人相談の実施

#### ● 特別研究員英語申請支援

(研究推進課と連携して取り組みを実施)

#### 1) 申請書作成マニュアル

申請書の英訳や申請書の書き方指南を提供

#### 2) 外国人申請予定者向け説明会

#### 3) 申請書作成支援

#### ● その他申請書作成支援

日本語による申請への支援と同様の支援を提供

・JST 戦略的創造研究推進事業



## 今後の課題

- 大学の狙い(top down)、外国人研究者の要望(Bottom up)、学内外の状況や意図をURA組織が把握し、取組の改善を進めていく。
- 研究推進課等の事務組織とURA組織の一体的運用により、今後増加する外国人研究者への研究支援に対応していく。